

昭和女子大学 女性文化研究所彙報 (平成18年度)

1. 組織

所長	坂東眞理子	生活機構
所員	天野 寛子	生活機構(家族・労働部門)
	安蔵 裕子	歴史文化(比較女性文化部門)
	伊藤 セツ	生活機構(女性史部門)
	上野 和子	文化創造(女性文芸部門)
	太田 鈴子	文学研究(女性文芸部門)
	掛川 典子	生活機構(比較女性文化部門)
	木村 修一	生活機構(生活学部門)
	島田 淳子	生活機構(生活学部門)
	滝沢 正彦	文学研究(女性文芸部門)
	平井 聖	生活機構(生活学部門)
	森 ます美	生活機構(家族・労働部門)
	尾崎 保子	総合教育(女性史部門)
	島崎 里子	英語コミュニケーション(女性文芸部門)

2. 定例研究会

2006年 6月 1日

「世界文学としての源氏物語—翻訳と批評—」
胡秀敏 (日本語日本文学科助教授)

2007年 1月23日

「私信から読むクララ・ツェトキーン的生活」
伊藤セツ (大学院生活機構研究科長)

2007年 2月16日

「マーガレット・フラーのイタリア便り—ア
メリカの彫刻家誕生—」
上野和子 (文化創造学科教授)
『失楽園』のエバ (イーヴ) —ミルトンの
結婚観—
滝沢正彦 (大学院文学研究科特任教授)

3. 公開講座

読売・昭女大 女性アカデミア21を下記の通り実施した。

日 時：2006年 7月 1日(土) 13:00～16:00

場 所：昭和女子大学グリーンホール

テーマ：女性とは地域で輝けるか？

—「人手」から「人材」への道—

基調講演：森まゆみ (地域雑誌『谷中・根津・
千駄木』編集人)

パネリスト：森まゆみ

：興梠寛 (世田谷区ボランティア協会理事長・
サービスラーニング研究家)

：高橋久雄 (昭和女子大学福祉環境学科助教授)

：坂東眞理子 (昭和女子大学副学長・女性文化研
究所長)

コーディネーター：北村節子 (読売新聞調査研
究本部主任研究員)

第17回女性学公開講座を下記の通り実施した。

日 時：2006年10月26日 16:30～18:30

場 所：昭和女子大学学園本部館 3 階 大
会議室・中会議室

テーマ：社会へ羽ばたくあなたたちへ 女性
リーダーたちの応援メッセージ

キャリアビジョンをまず描こう!!

基調講演：尾原蓉子 (IFIビジネス・スクール学長)

テーマ別分科会・報告：リーダーシップ111
キャリアサポート委員会

4. 二十周年記念事業

設立からの20年間の活動実績と、2006年 3 月に『設立20周年記念 女性文化研究叢書第五集 輝く女性たち —光葉の三五名』を刊行したこと等から 5 月 2 日の創立記念式でグループ表彰を受けた記念に 6 月 1 日には、設立二十周年・受賞記念懇談会を今年度第 1 回研究会 (通算第104回) に引き続いて開催した。『女性文化研究所紀要』34号を二十周年記念号とし、特集ページを組んだ。

5. 文献・資料収集

当研究所の図書室に当たる「女性文庫」の2007年 3 月末現在における所蔵冊数は、和図書11,606冊、洋図書3,614冊、雑誌(和洋)293タイトルである。2006年度に購入した特色あるコレクションとして、和図書は『戦後女性労働基本文献集 第3期』(日本図書センター)、『性暴力問題資料集成編集復刻版』(不二出版)、洋図書は *Victorian lady travellers in Asia series*, *New woman fiction: gender representation at the fin-de-siècle* などがあげられる。英文学位論文からは、*Feminism, ecology, and negative dialectics: toward a feminist green political theory* (UMI Dissertation Services)ほか12冊を購入した。

当研究所に直接送られてきた寄贈図書・定期刊行物も多数あるので、多くの方々の利用に供するため、漸次「女性文庫」に移管している。

6. 刊行物

『昭和女子大学女性文化研究所紀要』第34号
(2007年 3 月)

『Working paper』 No.22 (2006年12月)

『Working paper』 No.23 (2007年 2 月)

『Working paper』 No.24 (2007年 3 月)

『Working paper』 No.25 (2007年 3 月)

『Working paper』 No.26 (2007年 3 月)